

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(7月22日～7月28日)

2024年8月8日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルイジエンコフ外相の北朝鮮訪問(7月23日～25日)
- ルカシェンコ大統領のロシア訪問(7月25日～26日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●産業の現状に関する会合での発言

・ルカシェンコ大統領は、貿易におけるベラルーシの重要なパートナーはロシアと中国である旨述べた上で、欧州連合(EU)との接触は失われていないと述べ、「EUは我々の隣人である。我々はEU諸国との協力の方法を見つけなければならない。EUが何かを買う必要があり、我々がそれをEUの市場で売る必要がある場合、それは相互にとっての利益である」と付言。
(7月22日 大統領府)

●ミルジヨエフ・ウズベキスタン大統領との電話会談

・両首脳は、本年2月にルカシェンコ大統領がウズベキスタンを訪問した際の合意事項の実施状況につき、多くの分野での仕事が効果的に行われている旨言及。
・また、本年1月～5月にかけての両国の貿易高は2億4,500ドル(前年同期比105%)にのぼっており、両国は協力を継続し、新たな共同プロジェクトも開始している旨指摘。
(7月24日 大統領府)

●ロシア実務訪問

・7月25日～26日にかけて、ルカシェンコ大統領はロシアを実務訪問。露カレリア共和国内のラドガ湖に浮かぶヴァラーム島において2日間にわたって報道陣を入れず、プーチン露大統領と会談。
・7月29日、ルカシェンコ大統領は、先のロシア実務訪問において、①石油の価格を設定する新たな方式、②リサイクル料金、③石油料金の前払について協議したほか、安全保障の分野についても関係する高官を交えて協議した旨述べた。
(7月25日、26日、29日 大統領府)

【外交】

●ルイジエンコフ外相の北朝鮮訪問

(1)レセプションの開催

・7月23日、ピョンヤンに到着。崔善姫(チェ・ソンヒ)北朝鮮外相らがレセプションを開催し訪朝を歓迎。

(2)ベラルーシ・北朝鮮外相会談

・24日、両国外相は、条約や法的基盤の整備、両国外務省間の連携活性化に向けて直近で講じる具体的な措置や、保健・教育・農業・文化・スポーツ等の様々な分野において近日中に実施する具体的な事柄につき合意。
・北朝鮮側は、西側の制裁や制限に対抗するベラルーシの取り組みへの支持を表明。
・ベラルーシ代表团には、教育省と情報省から第一次官が、保健省と農業食糧省から次官がそれぞれ随行。
(3)尹正浩(ユン・ジョンホ)北朝鮮対外経済相との会談
・24日、両大臣は、食料安全保障・教育・保健の他、ベラルーシ製食品の北朝鮮への輸出、伝統的な朝鮮の化粧品のベラルーシ市場への輸入を含めた個々の商品の輸出入等につき協議。
・年内に、貿易経済協力合同委員会の次回会合を実施することで合意。
(4)マツェゴラ駐北朝鮮ロシア大使との会談
・ルイジエンコフ外相は、近年はベラルーシ・北朝鮮関係が、誠実さや信頼性、また様々な分野における協力の進展に両国ともに意欲的であることに基づいて順調に発展している旨発言。
(5)金徳訓(キム・ドクフン)北朝鮮内閣総理との会談
・25日、金徳訓(キム・ドクフン)北朝鮮内閣総理との会談が行われ、教育・保健・農業の各分野において二国間協力を活性化させる必要がある旨表明された。

・国際舞台における連携が協議されるとともに、世界的に注目されている基本的な問題に関する両国間の理解が高い水準にあることが指摘された。

(6) その他

・ベラルーシ代表団はピョンヤン滞在中、解放塔に献花した他、金日成総合大学及びピョンヤン教育大学でも会談を実施。バハノヴィチ教育次官も同席し、大学間での連携を進展させることで合意。

・またルイジエンコフ外相は、社会的な施設を複数訪問し、ピョンヤン市の社会インフラの機能につき視察。
(7月24日 ベラルーシ外務省、朝鮮中央通信、在北朝鮮ロシア大使館、25日 ベラルーシ外務省)

【内政】

●7月26日現在の政治犯の数は1,387人

(7月26日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(1) 7月22日～7月28日の不法越境の試み

- ・リトアニア国境警備局は少なくとも16人を阻止。
- ・ラトビア国境警備隊は少なくとも117人を阻止。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも156人を阻止。

(2) ポーランドへの不法越境の試みの減少

・7月23日、セモニャク・ポーランド内相は、6月13日にポーランド・ベラルーシ国境に緩衝地帯が設置された影響で、設置以前と比較し不法越境の試みが7割減少した旨発言。

(7月26日～7月30日 「ポジルク」)

【治安・犯罪】

●指定薬物の新規指定

・新たに、ブロマゾラム及び医療目的では使用されない12種類の特に危険な向精神薬を指定し、プトニタゼンを麻薬のリストに追加。

(7月22日 保健省)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

・民主勢力は、バルト三国によるベラルーシで登録された乗用車の入国禁止措置を受けた、バルト三国及

びポーランドに対する働きかけを継続。バルト三国に対し、ポーランド同様、車両の所有者が乗車しており、販売目的でない場合に、ベラルーシナンバーの乗用車の通行を許可するよう提案。

・7月26日、ラトウシコ元文化大臣は、シコルスキ・ポーランド外相と電話で会談。シコルスキ・ポーランド外相は、ベラルーシ国民を独裁政権から切り離して考えている旨発言。ポーランドは、ベラルーシで登録された乗用車の利用禁止や没収の措置を導入する予定はなく、ベラルーシ国民のベラルーシ・ポーランド国境の移動を制限しない。

・27日、ヴァチャオルカ・チハノフスカヤ民主勢力代表主任補佐官及び、モルチャノフ駐エストニア・ラトビア同事務所代表は、エストニア外務省、内務省、議会の代表者らと会談。会談の結果、ベラルーシで登録された乗用車の同国入国に関する、人道的理由などによる例外的措置につき合意。また、既にEUに滞在しているベラルーシ人の乗用車の再登録の方法につき協議。
(7月26日 「国家危機管理対策局」、27日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

【統計】

●2024年上半期の就業率

・2024年上半期の生産年齢人口(15～74歳)における就業率:67.9%、失業率:3%

(7月23日 国家統計委員会)

(了)